

福島県病害虫防除所より6月26日付けで「令和2年度病害虫発生予察情報 注意報第4号」が発表されました。県内全域で果樹カメムシ類の発生が多く確認されています。  
 今後の果実被害に十分注意してください。防除対策の重要なポイントは、「早期発見」です。

### 1 果樹カメムシ類の発生状況

- (1) 6月のフェロモントラップ調査では、果樹カメムシ類の誘殺数が調査地点8か所（中通り5か所、浜通り2か所、会津1か所）のうち、3か所で例年より多く確認されました（図1、図2、図3）。
- (2) 一部のりんご、日本なし、ももの園地では、果樹カメムシ類の越冬世代成虫の飛来が確認され（図4）、幼虫と卵塊も確認されています（図5）。
- (3) 今後、第1世代成虫が園地に飛来し、果実被害が発生するおそれがあります（図6）。

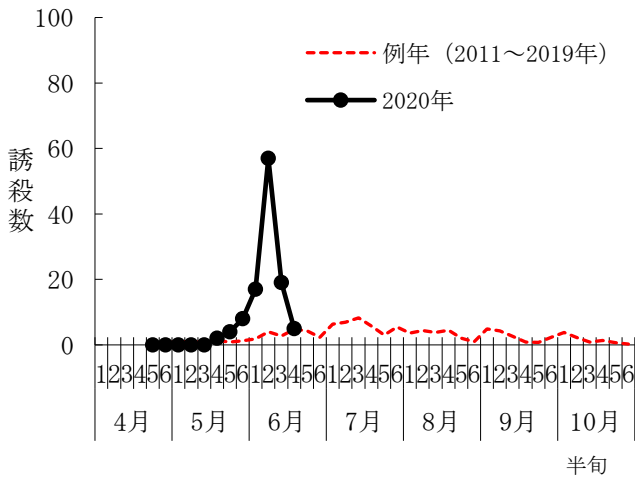


図1 果樹カメムシ類の誘殺状況（鏡石町）

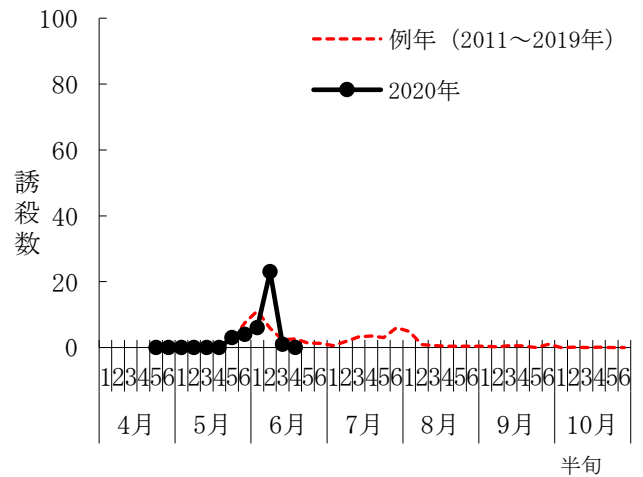


図2 果樹カメムシ類の誘殺状況（会津坂下町）

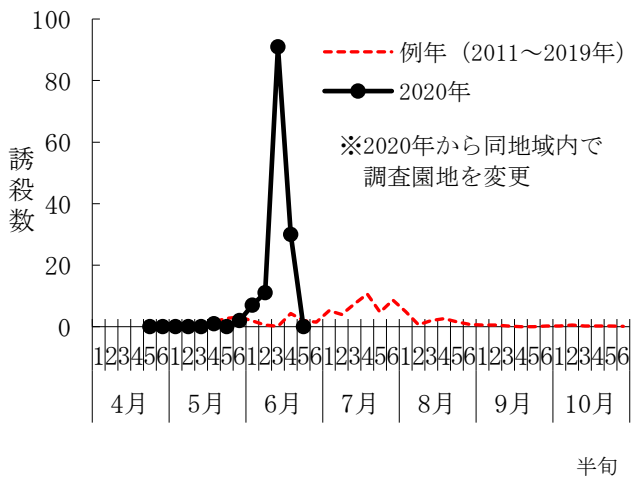


図3 果樹カメムシ類の誘殺状況（相馬市）

注) 図1～図3の誘殺数は、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの合計値



図4 チャバネアオカメムシ成虫  
(令和2年6月12日 撮影)



図5 チャバネアオカメムシの幼虫と卵塊  
(令和2年6月12日 撮影)

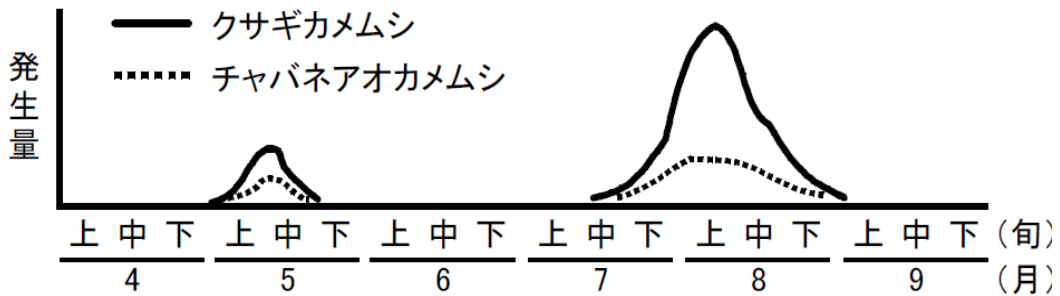


図6 果樹カメムシ類の発消消長 (出典：福島県果樹指導要項)

## 2 防除対策

- (1) 東北地方1か月予報(仙台管区気象台 令和2年6月25日発表)では、向こう1か月の平均気温は高い確率が50%と予測され、今後、果樹カメムシ類の活動が活発になると予想されます。
- (2) 果樹カメムシ類は、局所的に飛来し被害をもたらすため、定期的に園内を見回り、早期発見と被害防止に努めましょう。
- (3) 飛来を確認した場合は、早急に薬剤(合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤、有機リン剤)を散布しましょう。その際は薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意してください。
- (4) 果樹カメムシ類は移動性が大きいので、防除効果を高めるために、できるだけ地域で一斉防除を行いましょう。

**果樹カメムシ類の発生動向に注意し、果実の吸汁被害防止に努めましょう。**

### 病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、参照してください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬の散布は使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下の URL より他の農業技術情報等をご覧ください。)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

